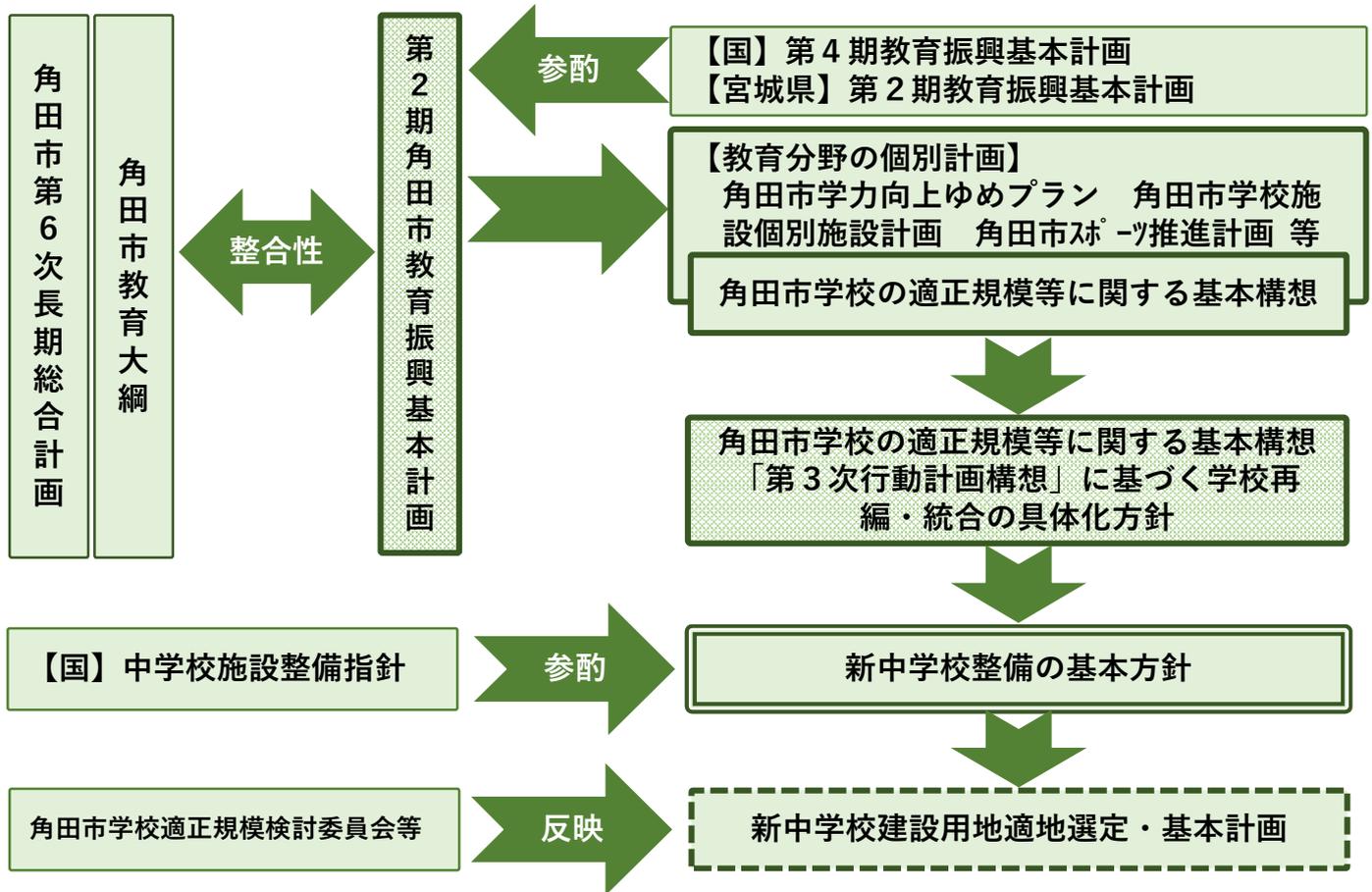




新中学校整備の基本方針

①資料4

1. 基本方針の位置づけ



第2期角田市教育振興計画（令和4年3月）

【本市教育の基本理念】

学びて楽しい！～持続可能な社会を実現する人づくり～

- 基本目標1：夢と志を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、未来を創造する力を育成します。
- 基本目標2：豊かな感性と健やかな体を持ち、かけがえのない命を大切にすることを目指す。
- 基本目標3：学校・家庭・地域の連携の強化を図り、社会全体で子供を守り育てる環境をつくりまします。
- 基本目標4～基本目標7：省略

角田市学校の適正規模等に関する基本構想「第3次行動計画構想」に基づく学校再編・統合の具体化方針（令和7年2月）

【角田中学校と北角田中学校の再編・統合】

両校とも将来的な生徒数の減少が見込まれること、学校施設の老朽化が進行しており、その解消が急務であること、本市の厳しい財政状況を踏まえ、改修・整備コストを最小化する必要があることなどを総合的に判断し、両校の再編・統合を決定する。なお、（角田市学校適正規模検討委員会からの）報告書の付帯意見を踏まえ、両校再編・統合後の新生中学校の適地選定や整備基本計画については、令和7年度以降に設置する検討委員会において検討する。

2. 基本方針が目指す学校像

新中学校整備に向けて、本市教育の基本理念「**学びって楽しい！～持続可能な社会を実現する人づくり～**」を実現するための学校像を定めます。

**確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、
主体的に楽しく学び合うことを通して、
未来を切り拓く力を育む学校**

3. 基本方針の具体策

基本方針が目指す学校像を実現するため、以下の具体策に基づき、学校づくりを進めていきます。

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する環境を整えます

- 一斉学習・個別学習・協働学習など生徒の多様な学びに柔軟に対応する教室や多目的スペース等を整備します。
- 調べ学習など生徒の主体的な学習活動を支援し、生徒の情報リテラシーを育成するため、最新のICT環境や利用しやすい学校図書館等を整備します。
- 将来的な学級数の変動や学習内容・形態の変化にも柔軟に対応する学校施設を整備します。

(2) 豊かな心と健やかな体の育成を促す環境を整えます

- 生徒の学習及び生活の場として、日照・採光・通風・換気・室温等に配慮した良好な環境を確保します。
- インクルーシブ教育の実現に向け、バリアフリー化やユニバーサルデザインを採用した、誰もが利用しやすい学校施設を整備します。
- 生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、必要な設備等を整備します。
- 集団生活に適応しづらい生徒が、学校内で安心して過ごし、必要な学習的支援を受けられる環境を整備します。

(3) 安全・安心で快適な学習環境を整えます

- 熱中症などの健康リスクを軽減するため、教室だけでなく、屋内運動場等にも空調設備を整備します。
- 不審者の学校侵入を防止するため、防犯カメラ・車止め・非常通報装置等の防犯設備を整備します。
- ZEB化を推進し、施設のエネルギー消費量を削減し、快適で地球環境に配慮した学校施設を実現します。
- 地震や大雨などの災害に強く、避難所としての防災機能を有する学校施設を整備します。

(4) 地域の教育力を活用できる地域に開かれた環境を整えます

- 保護者、地域住民等が学校運営や教育活動を円滑に支援できるよう活用しやすい学校施設を整備します。
- 学校開放事業など地域住民等が地域コミュニティ活動の拠点として利用しやすい学校施設を整備します。
- 発災時に地域の防災拠点として、地域住民等が安全かつ迅速に避難できる学校施設を整備します。